

セルフジャッジの試合における変更点2018

三重県審判委員会

◎選手には今まで以上にスポーツマンシップにのっとりフェアな判定が求められます。

◎SCUのついた試合に関しては変更ありません。

◎変更点は太字で記載しています。

1. コールできる選手の変更

「ネット」「スルー」「タッチ」「ノットアップ」「ファウルショット」に関し

ネットより自分側のコートの選手がコール→**両プレイヤー/チームがコール出来る。**

※双方で確認、解決が出来ない場合はレフェリーやロービングアンパイアを呼んでください。

2. ミスジャッジを直ちに訂正した場合

インだったボールを誤って「アウト」とミスジャッジしたが、直ちに訂正した場合

そのプレイヤーの失点→1回目はポイントレット、2回目以降は失点。

明らかなウィニングショットは1回目から失点。

※「ダブルスの試合においてペアの判定が違った場合はそのチームの失点(サービスネットを除く)」は変更ありません。

3. ロービングアンパイアにオーバールールされた場合

レフェリー、アシスタントレフェリー、ロービングアンパイアによってオーバールールされた場合

そのプレイヤーの失点(サービスネットを除く)

→1回目はポイントレット、2回目以降は失点。

明らかなウィニングショットは1回目から失点。

以上